

文部科学省「大学間連携共同教育推進事業」に採択

〈考え、表現し、発信する力〉を培うライティング／キャリア支援

文部科学省が重点的に財政支援を行う平成24年度「大学間連携共同教育推進事業」に、関西大学と津田塾大学による連携取組「〈考え、表現し、発信する力〉を培うライティング／キャリア支援」が採択されました。

大学間連携共同教育推進事業とは、複数の

大学が国公私立の設置形態を超えて相互に連携し、共同の教育・質保証システムの確立を目指す取組です。今回の事業には、全国の国公立大学等から153件の申請があり、達成目標が明確で高い成果が見込まれる49の取組が選定されました。平成24年度より5年間かけて事業

が展開されます。

取組は関西大学と津田塾大学によって構成される「プロジェクト運営委員会」を主体として運営されますが、関西大学側の運営は、教育開発支援センターの中に設置された組織「ライティング支援プロジェクト」によって担われています。

本取組の趣旨

本取組では、ライティング支援を通して〈考え、表現し、発信する力〉の育成を目指しています。

大学での学びの場を中心に発揮されるライティングの力には、多様な知的能力が分かれがたく統合されています。そこには、資料を検索し読解する力、データを分析し総合する力、自分の見解を論理的に考え、表現する力、それを発表して相手に伝える力、相手とコミュニケーションを取り、相互理解を形成する力など、多様な力が含まれているのです。そのような総合的な知的能力が〈考え、表現し、発信する力〉です。

この力は、大学で学んでいくために不可欠の力ですが、同時に、社会の中でコミュニケーションを形成し、主体的に考え生きていくために必要不可欠の力もあります。それはまさに、学生の人生全体において必要なものであり、その育成は、大学におけるキャリア支援の要となるものだといえるでしょう。我々は、このような、キャリア支援と分かれがたく結びついたライティング支援を、〈ライティング／キャリア支援〉と呼んでいます。

取組では、このライティング／キャリア支援体制を、両大学が力を合わせて構築していきます。両

大学で展開するライティングセンターの支援体制整備を中心に、eポートフォリオシステムの開発や客観的評価指標など、あらゆる側面から総合的なライティング／キャリア支援体制の充実を図っていく予定です。



標（ループリック）を開発し、活用します。また、学生が自己の学びを振り返るための総合的な自己評価指標も同時に開発し、学生の気づきを促します。

④授業カリキュラムとの連携

両大学で開かれている様々な授業と密接に連携し、支援の効果を高めます。

⑤社会連携

高大連携をはじめとして、幅広く社会と連携し、様々な取組を推進し、取組成果を大学だけでなく、社会全体に広げていきます。

取組内容

本取組は、五つの柱からなります。

①ライティングセンターの支援体制の再構築

関西大学のライティングラボと津田塾大学のライティングセンターの支援体制を再構築し、より充実したライティング支援を目指します。具体的には、(1)TAによる指導の質を向上させるために合同研修や指導ガイドラインを充実させる、(2)指導する文章の幅をレポート・論文から、大学で必要な多様な文章に拡大する、(3)書くことへの動機づけにつながる講演会や文章講座を積極的に開催する、(4)ガイドブックを作成する、(5)作文コンテスト

を実施するなどの多様な取組を実施します。

②ライティングに特化したeポートフォリオの開発

ライティングセンターでの指導履歴管理や運営支援、評価指標を用いたセルフチェック、さらには学生の学習記録を社会に向けて公表できるキャリア形成支援のためのポートフォリオ機能を持つ総合的な支援システムを開発し、活用します。

③評価指標の確立

書く力と、そこから広がる〈考え、表現し、発信する力〉の向上を客観的に測るために評価指

ライティングラボとは

ライティングラボとは、関西大学の学生を対象としたライティング支援室（ライティングセンター）であり、関西大学の学生であれば誰でも利用することができます。2010（平成22）年度に開設された文学部の「卒論ラボ」を母体としていますが、2012

年度から「ライティングラボ」と名称変更され、現在は、教育開発支援センター「ライティング支援プロジェクト」によって運営されています。2012年10月には文部科学省大学間連携共同教育推進事業「〈考え、表現し、発信する力〉を培うライティング／

キャリア支援」に採択されました。このGPの取組の一環として、現在、ライティングラボの本格的整備を進めており、ライティング支援体制の一層の充実が期待されています。ライティングラボの支援内容と特徴は、次の通りです。

ライティング支援

ライティングラボは、第1学舎1号館5・6階にあり、ここでレポートや論文などの作成支援をおこなっています。授業期間中は月～金曜日の毎日開室され、一回の指導時間は45分で、予約が必要となります。支援は、TA（大学院生）が学生に質問をし、対話をしながら、具体的な問題点を見出し、アドバイスをするというかたちでおこなわれます。TAが添削をしたり、答えを与えるのではなく、学生に自分で問題点を考えてもらい、「気づき」を促していくことが重要だと考えるからです。指導内容は、授業でのレポートから卒業論文、ゼミの発表原稿・レジュメに至るまで、ありとあらゆるアカデミック・ライティングの文章であり、作成途中や未作成の段階でも相談を受け付けています。



ライティングラボでのTAによるアドバイスの様子

まなかんウェブ

ライティングラボでは、「まなかんウェブ」というオリジナルのWebアプリケーションを活用しています。まなかんウェブでは、ライティングラボの予約ができるほか、自分の作成したファイルを保存し活用することができます。現在、大学間連携共同教育推進事業の取組として、新しいWeb型ポートフォリオシステムの開発を進めしており、より進化した支援システムに発展していく予定です。

文章表現ワンポイント講座

ライティングラボでは、「文章表現ワンポイント講座」を開講しています。これは、ライティングにおいて注意すべきポイントを解説する1回30分の授業外講座で、毎学期、授業期間中に開講されています。そのほか、ライティングラボでは、ライティングに関わる様々な講演会やセミナーを不定期で開講しています。

（文学部 中澤 務）



「〈考え、表現し、発信する力〉を培うライティング／キャリア支援」講演会の様子